（見本２）

事　業　計　画　書

申請者名 （法人の名称又は個人事業主の代表者の氏名）	●●株式会社
利用ＡＩ等の種類	（事業の種類の番号に〇を付けてください。） ①　画像認識　　２　音声認識　　３　自然言語処理 ４　予測・異常検知　　５　作業自動化　　６　生成ＡＩ ７　その他（　　）
事業の内容	(1) 申請者の現状と課題（ＡＩツールを活用したデジタル化の背景（動機）） （申請者の事業概要〈会社概要パンフの添付でも可〉、業界動向、課題等を記載）） 精密部品の製造を行っている。出荷前の検品をベテラン従業員の目視に頼っているが、加齢による見落としリスクや、若手への技術継承が課題となっている。また、検品工程が生産のボトルネックとなっている。 (2) ＡＩツールの利活用の目的とその内容 （どのような業務にＡＩツールの利活用を行うのか、できるだけ具体的に記載） カメラで撮影した製品画像を AI で解析し、傷や寸法の異常を瞬時に判定する外観検査システムを導入する。AI による自動判定により、検品精度の均一化と高速化を実現する。 (3) ＡＩツール利用に伴う機器の構成内容 （どのような機器構成でＡＩツールを利用するのか、できるだけ具体的に記載） AI 解析用ワークステーション１台、および画像取り込み用カメラ２台、照明機器2台を導入し、既存の生産ラインに設置する。
事業の効果	（本事業の展開計画や期待される効果など、可能ならば定量的な目標数値と併せて記載） 検品工程の作業時間を月間 100 時間削減する。また、不良品の流出率をゼロに近づけることで、取引先からの信頼性を向上させ、安定的な受注を維持する。

経　費　明　細　書

申請者名 （法人の名称又は 個人事業主の代表者の氏名）	●●株式会社

補助金算出に関する 従業員数の内訳	代表者・経営者	常勤役員	事業専従者	常用雇用者	合計
	人	人	人	16人	16人

※上記従業員数は募集要領の基準に則り記載すること。補助金額・購入台数の上限を確認するための数値であり、必ずしも全従業員数を記載する必要はありません。

経費内訳　　（単位：円）

取引事業者	内　訳	単価 （税抜）	数量	金　額 （税抜）	
▲▲システム㈱	外観検査AIソフトウェア XXXXX	1,500,000	1	1,500,000	
〃	AI解析用PC XX-XXX	400,000	1	400,000	
〃	検査用カメラ・照明ユニット（AI連動型）	600,000	2	1,200,000	
①補助対象経費（合計）		—	—	3,100,000	
②補助対象外経費等（上記取引に係るポイント等）					
③補助対象経費　（①-②）				3,100,000	
④補助金上限額（15万円×従業員数）				2,400,000	
⑤補助金申請額（③補助対象経費の3/4と④補助金上限額の小さい方の金額）※千円未満切捨て				2,325,000	

【注】経費内訳の「金額」欄には消費税及び地方消費税相当分を除外した数値を記載してください。
【注】カメラ機能付きノート型パソコンやタブレットなどの購入に係る機器の数は従業員数が上限となります。
【注】補助金の上限額は、15万円×従業員数で、最大で300万円（20人以上）です。
【注】このほかに、経費の確証となる見積書を必ず提出してください。
⇒一式見積りや、導入するデジタル化の構成要素（見積項目）の単なる羅列ではなく、補助対象事業の中でどのような役割を担うものか（何のために使うのか）ができるだけ判別できる内容のもの